

社会医学会レター

日本社会医学会 2012-3号 2013年6月25日発行
事務局 〒464-8603 名古屋市千種区不老町
名古屋大学情報科学研究科 宮尾研究室
Tel/FAX: 052-789-4363 miyao(at)nagoya-u.jp (at)は@
ホームページ: <http://jssm.umin.jp/>

第54回日本社会医学会総会 学会長ご挨拶

学会長: 星 旦二 (首都大学東京・教授)
副学会長: 櫻井尚子 (東京慈恵会医科大学・教授)

2013年7月6日から7日にかけて、第54回日本社会医学会総会を、首都大学東京にて開催させていただき、光栄に思っています。

我が国は、世界的に見ても、自殺や過労死がきわめて多く、都市間、都市内部での健康較差、つまり平均寿命や要介護割合の較差が大きく、特有の健康課題を抱えています。事実、都市部の健康度は相対的に低下しています。

基調講演は、前学会理事長の上畑鉄之丞先生をお迎えして、ライフワークとして取り組まれてこられた「過労死」に関する総括的な話題提供を依頼しています。また、屋内外の環境と健康との関連に関する学際的な研究を、体系的に研究されてこられた、前建築研究所長でいらっしゃいました村上周三先生にお願いしています。

また、都市部の健康水準、健康較差、大災害を含む健康支援に関する学際的な取り組みに注目し、特別講演、シンポジウムを行ないたいと思っています。以下その概要です。

2012年の日本公衆衛生学会・シンポジウムで取り上げたテーマ「わが国の健康課題と社会医学からのアプローチ」を踏襲し、ここでのシンポジウムに再度、内容をさらに進化させてお預りする予定です。

東日本大震災に関する健康支援を続けておられる先生方に、健康支援の現状とその成果と今後の課題についてのシンポジウムも企画しています。

都市部の健康水準を明確にされてこられた東京都の保健所長経験者らにお願いし、健康寿命の指標作成プロセスと、その活用についても展望したいと思っています。さらに、教育講演として、共分散構造分析、自主グループ支援活動、ヘルスプロモーション活動について、公的責任を踏まえて議論を深めていきたいと思えます。

交通の便利さもあり、多くの方の参画を期待しています。会員、非会員を含めて、多数のご参加をお待ちしております。

ホームページ: <http://www.onyx.dti.ne.jp/star/jssm54/>

第54回日本社会医学会総会 参加者へのご案内

1. 参加登録: 場所: 首都大学東京 南大沢キャンパス 6号館 1階玄関ホール 時間: 7月6日(土) 9:00~17:00 7月7日(日) 8:30~17:00
2. 受付: 1)「事前登録」されている方 受付にて名札と抄録を渡します。2)「当日参加申し込み」の方 当日受付にて参加費を納入し、名札と抄録をお受け取りください。
3. 参加費・抄録集: 1)会員 一般 4,000円 2)会員外 一般 5,000円 3)学部学生 2,000円
- 4)学術大会講演集(抄録集) 一冊 2,000円 参加費には1冊分含まれます。
4. 懇親会: 1)日 時 7月6日(土) 17:30~19:30
- 2)場 所 首都大学東京 国際交流会館内 ルヴェンソール南大沢
- 3)参加費 一般、学生ともに 4,000円
学会参加申し込みと同じ用紙にて懇親会参加を選択して下さい。
5. 学会事務受付: 日本社会医学会では年会費・新入会員の受付をします。
6. 1)昼食 首都大学キャンパス内と南大沢駅周辺をご利用ください。2)配付資料など 小冊子などの資料配付は、2階ロビーに配付資料デスクを設置いたします。
- 3)呼び出し 1階玄関ホールに連絡板を用意します。ご利用ください。
- 4)休憩 2階ロビーにセルフのティーサービスを設けました。飲料水などの自動販売機は、1階玄関ロビー外の左側にあります。

【7月6日(土)】10:00~12:00 110教室

シンポジウム1. 「東日本大震災の復興期におけるコミュニティ支援の課題 ~コミュニティ支援におけるソフトとハードの交叉面を探る~」

コーディネータ: 大木 幸子 (杏林大学保健学部)
・「災害後のコミュニティ支援におけるソフトとハードの交叉面」
大木 幸子 (杏林大学保健学部)

・「仮設住宅を中心とした生活支援活動~地域のつながりづくりをめざして~」 西城 宗子 (NPO 法人生活支援プロジェクトK)

・「津波被災地の集落復興プランニングの課題」市古太郎 (首都大)

・「自立住宅再建における専門家の協働支援の特質~気仙沼階上地区、防災集団移転支援~」連 健夫 (建築家・連健夫建築研究室)

13:15~14:45 110教室

特別講演「住宅・コミュニティと健康」講演者: 村上 周三 (一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構・理事長)

座 長: 加藤龍一 (J R 共済総合研究所 医研センター長)

15:00~17:30 110教室

シンポジウム2. 「わが国の健康課題と社会医学の役割」

コーディネータ: 星 旦二 (首都大学東京)

・「社会医学的に見た健康課題とその対応」高島毛 敏雄 (関西大学)

・「社会経済的な困難生活者・健康課題を有する人々に対する実践的研究」逢坂隆子 (NPO 法人 HEALTH SUPPORT OSAKA)

・「生活保護被保護者の健康支援活動の方策」原 政代 (太成学院大)

・「社会的困難に長年向き合う地域における「生活の質」と多様な主体による地域運営」宮北 隆 (熊本学園大学)

・「東日本大震災・大津波による複合負担と産業医・産業保健活動の役割」広瀬 俊雄 (仙台錦町診療所、産業医学センター・所長)

・「健康の公平と社会医学の役割」松田 亮三 (立命館大学)

14:00~17:30 101教室

シンポジウム3. 「戦争と医学」

コーディネータ: 西山 勝夫、峠田和史 (滋賀医科大学)

・基調「15年戦争期における日本の医学犯罪」土屋貴志 (阪市大)

・「金沢医科大学と15年戦争(仮題)」蒔 昭三 (城北病院)

・「東北大学医学部教官の15年戦争への加担」刈田啓史郎 (東北大)

・「731部隊関係者の京都大学の医学博士の学位授与」西山勝夫

【7月7日(日)】9:30~10:15 110教室

学会長講演「個々人の主体性を尊重する支援環境の整備~社会医学の次の発展に向けて~」講演者: 星 旦二 (首都大学東京)

座 長: 高島毛 俊雄 (関西大学)

10:30~11:30 110教室 座 長: 大木 幸子 (杏林大学)

基調「過労死問題の過去と現在」上畑鉄之丞 (過労死・自死相談 C)

13:00~15:00 110教室

シンポジウム4. 「健康寿命指標と自治体現場での活用」

コーディネータ: 上木隆人 (公衆衛生活動研) 永見宏行 (日赤看大)

・「健康寿命指標の種類と考え方」尾島 俊之 (浜松医科大学)

・「東京保健所長会における健康寿命検討の経緯とその確立について」永見 宏行 (日赤看護大学)

・「65歳健康寿命の計算方法」上木 隆人 (公衆衛生活動研究所)

・「健康寿命を自治体の計画指標として位置付けることへの試み」

南 昌子 (東京都荒川区保健所保健予防課検査室)

・「台東区における保健師の地域組織活動の取組と健康寿命指標へのつながり」山田 圭子 (東京都台東区台東保健所保健サービス課)

・追加発言: 渡部 月子 (神奈川県立保健福祉大学)

13:00~15:00 101教室

シンポジウム5. 「ヘルスプロモーションの実践活動」

コーディネータ: 櫻井 尚子 (東京慈恵会医科大学大学院)

・「埼玉県坂戸市の健康政策」三谷 良昭 (坂戸市健康増進部)

・「熊本県旧蘇陽町の実践から学んだこと: 住民が求めている身近な保健師の存在」福本 久美子 (九州看護福祉大学)

・「健康日本 21 地方計画策定・推進において住民と協働した保健師の機能」高嶋 伸子 (香川県立保健医療大学)

・追加発言: 緑川綾 (東京慈恵会医科大学大学院)

15:10~16:00 110教室

教育講演「自主グループ活動のつくり方・育て方」

講演者: 栗盛 須雅子 (日本保健医療大学・教授)

座 長: 櫻井 尚子 (東京慈恵会医科大学)

【7月7日(日)】自由集会 15:10~16:00 (略)

第54回日本社会医学学会総会プログラム・会場一覧表

7月6日（土）

	110教室	101教室	401教室	402教室	211教室	213教室
9:50-9:59	開会式					
10:00-10:59	シンポジウム1					
11:00-11:59			一般演題④	一般演題③		
12:00-12:59						
13:00-13:59	13:15-14:45 特別講演					
14:00-14:59		シンポジウム3	一般演題⑤	一般演題⑥	一般演題⑦	一般演題⑧
15:00-15:59	一般演題⑨		一般演題⑩	一般演題⑪	一般演題⑫	
16:00-16:59	シンポジウム2					
17:00-17:30						
17:30-17:59						
18:00~	懇親会（国際交流会館）					

7月7日（日）

	110教室	101教室	401教室	402教室	211教室	213教室
9:00-9:59	9:30-10:15 学会長講演					
10:00-10:59		10:30-11:30 基調講演		一般演題⑭	一般演題②	一般演題⑮
11:00-11:59	総会					
12:00-12:59						
13:00-13:59	シンポジウム4	シンポジウム5	一般演題⑬	一般演題⑯	一般演題⑰	一般演題⑲
14:00-14:59			一般演題⑰	一般演題⑱	一般演題⑲	一般演題⑲
15:00-15:59	15:10-16:00 教育講演		自由集会1	自由集会2		

	日	時	会場	演題(副題を省略し短縮してあります)	口演者	所属(短縮してあります)
セッション①-1	6	11	401	中野駅前での街頭相談会のまとめ	谷川智行	
セッション①-2	6	11	401	車椅子利用者にとっての避難所のバリアフリー環境	西田直子	京都府立医大看護
セッション①-3	6	11	401	滋賀県における就労障害者の二次障がい	白星伸一	佛教大学保健医療技術学部
セッション②-1	6	11	402	東日本大震災住民におけるソーシャルキャピタル	鈴木るり子	岩手看護短期大学
セッション②-2	6	11	402	自律的なコミュニティ活動を促す社会的要因	山田広明	北陸先端科技大知識科学
セッション②-3	6	11	402	富山地域のストレス低減を目指したゲートキーパー養成	小林俊哉	九州大学科技イノベ政教研究センター
セッション③-1	6	11	211	Relationship between Mental, Physical, Social Health and Long-term Care Needs	Fanlei Kong	首都大学東京都市環境科学
セッション③-2	6	11	211	Prognosis of health among non-institutionalized elderly adults	Shuo Wan	首都大学東京都市環境科学
セッション③-3	6	11	211	Healthy life expectancy in relation to the socioeconomic status and long-term care	Suwen Yang	首都大学東京都市環境科学
セッション④-1	6	11	213	大学生の農作業と運動量・気分・食意識	稲木隆一	早稲田大学人間科学
セッション④-2	6	11	213	児童生徒の体力と社会経済文化的要因	青地ゆり	早稲田大学人間科学
セッション④-3	6	11	213	カザフスタン共和国における児童生徒の生活習慣	岩垣穂大	早稲田大学大学院人間科学研究科
セッション⑤-1	6	14	401	山村過疎地のメンタルヘルスのリスク・ベネフィット	須永恭子	富山大学地域連携推進機構
セッション⑤-2	6	14	401	山村過疎地における健康格差と心理社会的因子	立瀬剛志	富山大学地域連携推進機構
セッション⑤-3	6	14	401	千葉県東葛地域における派遣村活動の医療支援4年間	大野義一郎	東京勤医会 東葛病院
セッション⑥-1	6	14	402	一般高齢者における認知機能と抑うつ気分について	石濱照子	中野区健康福祉部・東洋英和女学院大
セッション⑥-2	6	14	402	都市郊外高齢者の食生活別にみた諸要因の関連	藤井暢弥	首都大学東京・都市環境学部
セッション⑥-3	6	14	402	在宅高齢者の循環器疾患と社会経済的要因・健康三要因	久保美紀	首都大学東京・帝京科学大
セッション⑦-1	6	14	211	医療の人口の健康への寄与	松田亮三	立命館大学
セッション⑦-2	6	14	211	共時的インターグループワークの試み	志賀文哉	富山大学人間発達科学部
セッション⑦-3	6	14	211	インターネット上におけるがん患者の語りの特徴	橋本ひかり	早稲田大学人間科学部

	日	時	会場	演題(副題を省略し短縮してあります)	口演者	所属(短縮してあります)
セクション⑧-1	6	14	213	均等化視点からみた中国流動人口の母子健康の支援	高燕	中国浙江工商大学 公共管理学院
セクション⑧-2	6	14	213	知的障害児の親の SOC, 精神健康と障害児への体罰	木村美也子	聖マリアンナ医科大学・日本福祉大学
セクション⑧-3	6	14	213	乳幼児の父親の QOL 関連要因	高城智圭	首都大学東京 都市環境科学
セクション⑨-1	6	15	401	社会経済的要因と幸福感、生活満足感、主観的健康感	坊迫吉倫	首都大学東京 都市環境科学
セクション⑨-2	6	15	401	セミパラチンスク核実験場住民の核被害の実態と核への意識	扇原淳	早稲田大学人間科学学術院
セクション⑨-3	6	15	401	都道府県別の低出生体重児出生率と社会経済的要因	芹澤加奈	早稲田大学大学院
セクション⑩-1	6	15	402	認知症対応型デイジーサービス利用中の高齢者の居心地①	垣尾美帆	姫路赤十字病院
セクション⑩-2	6	15	402	認知症対応型デイジーサービス利用中の高齢者の居心地②	中西麻利子	済生会吹田病院
セクション⑩-3	6	15	402	認知症対応型デイジーサービス利用中の高齢者の居心地③	富田貴和子	大阪市立総合医療センター
セクション⑪-1	6	15	211	住民の暮らし尊重の健康支援のあり方と保健師	梶西祐子	呉市保健所 健康増進課
セクション⑪-2	6	15	211	中山間地域における保健師活動の現状と課題	菊池美恵	高知県立大学人間生活学
セクション⑫-1	6	15	213	血友病保因者の遺伝に関する支援ニーズ(第一報)	柿沼章子	社会福祉法人 はばたき福祉事業団
セクション⑫-2	6	15	213	血友病保因者の遺伝に関する支援ニーズ(第二報)	久地井寿哉	社会福祉法人 はばたき福祉事業団
セクション⑫-3	6	15	213	血友病保因者の遺伝に関する支援ニーズ(第三報)	井上佳世	お茶の水女子大学人間文化創成科学
セクション⑬-1	7	13	401	中国大都市の要介護高齢者の生活実態と介護ニーズ	陳引弟	立命館大学社会学
セクション⑬-2	7	13	401	介護予防と地域づくり	行貞伸二	大阪体育大学健康福祉学部
セクション⑬-3	7	13	401	医療者と高齢患者とのコミュニケーションの問題	筒井秀代	帝京大学医学部衛生学公衆衛生学
セクション⑭-1	7	13	402	釜ヶ崎に住む単身高齢者の健康生活支援	谷生淳	NPO 法人 HEALTH SUPPORT HINATA
セクション⑭-2	7	13	402	ホームレスの結核対策における専門職の団体活動の意義	井戸武實	NPO 法人 HEALTH SUPPORT OSAKA
セクション⑭-3	7	13	402	釜ヶ崎のシンデミック状況への医療人類学的アプローチ	西真如	京都大学グローバル生存学
セクション⑮-1	7	13	211	東京高裁判決を迫認したイレッサ最高裁判決の不当性	片平冽彦	新潟医療福祉大学
セクション⑮-2	7	13	211	スティグマを伴う病いの経験から社会関係の回復へ	姜明江	京都大学アジア・アフリカ地域
セクション⑮-3	7	13	211	【第4報】検証されずに風化する薬害	栗原敦	MMR被害児を救援する会
セクション⑯-1	7	13	213	労働者集団における慢性腎疾患の蔓延状況	山崎美智子	金沢医科大学医学部衛生学
セクション⑯-2	7	13	213	壮年期男性の突然死事例報告	波川 京子	川崎医療福祉大学 保健看護学科
セクション⑯-3	7	13	213	京都市民間社会福祉職員の労働関連筋骨格系障害	三宅成恒	京都労災被災者援護財団 京都城南診療所
セクション⑰-1	7	14	401	認知症の人に対する介護職員の態度	黒田研二	関西大学人間健康学部
セクション⑰-2	7	14	401	高齢者介護施設のワークライフコンサルティングと疲労評価	大浦絢子	早稲田大学人間科学
セクション⑰-3	7	14	401	盲ろう通訳・介助員の活動実態調査	中村賢治	大阪社会医学研究所
セクション⑱-1	7	14	402	イギリスの公衆衛生制度と専門職の教育・訓練システム	高鳥毛敏雄	関西大学社会安全学部
セクション⑱-2	7	14	402	中国建築市場における珪藻土の応用現状と展望	馬景輝	中国浙江理工大学
セクション⑱-3	7	14	402	日本における外国人介護福祉士候補者の教育支援	ケリ イメルダ	立教大学コミュニティ福祉
セクション⑲-1	7	14	211	時系列分析による予防接種に関するメディア報道	河内健輔	早稲田大学人間科学部
セクション⑲-2	7	14	211	HPVワクチン副作用情報の件数と健康被害救済請求	栗原敦	PMDA運営評・救済業務委員会
セクション⑲-3	7	14	211	HIV と精神保健課題をあわせもつ陽性者への支援	大木幸子	杏林大学保健学部
セクション⑳-1	7	14	213	石川県内の復職支援施設の現状と展望	登坂由香	金沢医科大学衛生学
セクション⑳-2	7	14	213	若年陸上自衛官におけるストレス対処能力	小林道	北海道医療大学看護福祉学
セクション⑳-3	7	14	213	男性労働者のワークライフバランスとその関連要因	上原 尚紘	医社 いずみ会 北星病院
セクション㉑-1	7	15	211	常設夜間休日 HIV 検査場における陽性者の解析	毛受矩子	四天王寺大・NPO スマートらいふネット
セクション㉑-2	7	15	211	HIV 陽性者ピアサポート形成プロセス	井上洋士	放送大学
セクション㉑-3	7	15	213	パワハラによるうつ病等の労災認定基準の問題点	色部祐	働くもののいのちと健康を守る東京センター

社会医学研究の投稿しましょう

すぐ投稿すれば、2013 年度中に、掲載される可能性が十分あります。星旦二編集委員長にメールで送ってください。
 star(at)onyx.dti.ne.jp (at)は@に置き換えてください。
 投稿規程は、<http://jssm.umin.jp/> にあります。
 バックナンバーも全部読めます。2013 年 9 月末をメドに原稿を送ってください。査読の上に、年内に間に合うでしょう。

本レターに関するご意見をお寄せください。
 事務局(長谷川・細野)
 お問い合わせは、miyao(at)nagoya-u.jp まで。
 (at)は@に置き換えてください。

会費の納入をお願いします。首都大学東京で。

2012 年度分の会費、2013 年度分の会費、未納分を、納入してください。2012 年度分までは、5 千円(学生 2 千円)です。2013 年度分からは、7 千円(学生 3 千円)です。
 銀行振込(ゆうちょ銀行 ○九九店・当座 0182953・日本社会医学会)または(名古屋銀行 本店営業部・普 3761624・日本社会医学会=ニホンシャカイガッカイ)もあります。
 名誉会員の方は、寄付を 1 口 7 千円をお願いします。
 今回の社会医学研究の配送に際しては、郵便払込票を同封していません。学会誌配送と、学会総会の日程が近いので、払っていらっしゃるか、どうか、1 週間の連絡遅れで混乱するからです。次回、同封します。また、払込用紙は、メールでも PDF でおくれますので、ご請求下さい。
 miyao(at)nagoya-u.jp (at)は@に置き換えてください。

第54回日本社会医学会総会

総会日時: 2013年7月6日(土)~7日(日)

交通のご案内

東京都八王子市南大沢 1-1 首都大学東京・6号館
京王相模原線 南大沢駅(急行停車) 徒歩7分
事務局: 都市環境学部・都市システム科学域・星研究室
Eメール: jssm54(at)hotmail.co.jp (at)は@に置換え

- ・**新宿**より京王本線で、調布へ行き、京王相模原線に乗り換え、南大沢駅下車。
※改札口を出て右手に緑に囲まれたキャンパスが見えます。
- ・**新横浜**より、JR 横浜線快速で橋本へ、京王相模原線に乗り換え、南大沢着。

新宿からでも、新横浜からでも、いずれも、40分前後(±10分)くらい。したがって、西日本の方からの参加者は、新横浜経由が便利で安いです。

ホームページをご覧ください

<http://www.onyx.dti.ne.jp/star/jssm54/>

南大沢キャンパス

首都大学東京

都市環境学部



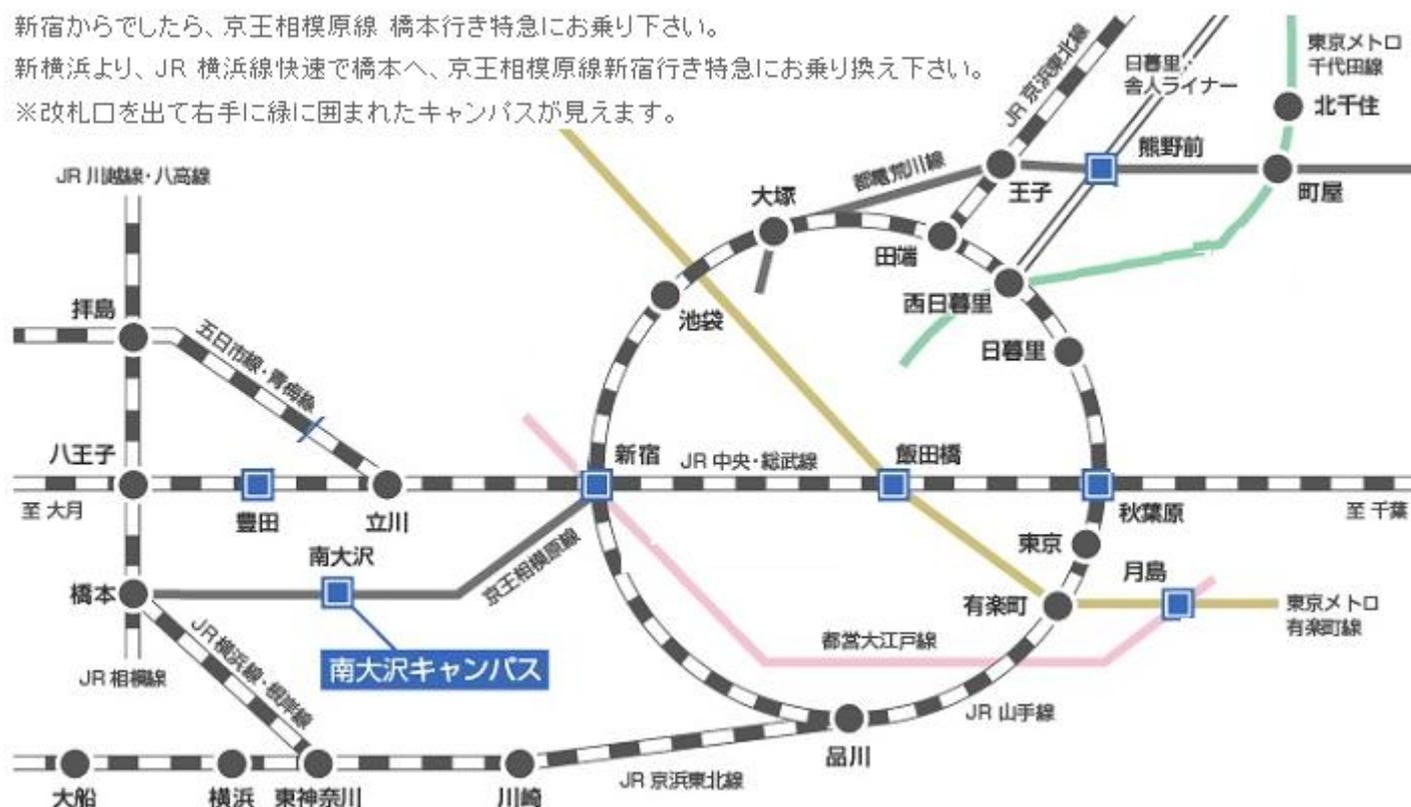
南大沢キャンパスの正門(南門)から入られたら、まっすぐにお進み下されば、6号館に着きます。

京王線相模原線「南大沢」駅改札口から徒歩約5分

新宿からでしたら、京王相模原線 橋本行き特急にお乗り下さい。

新横浜より、JR 横浜線快速で橋本へ、京王相模原線新宿行き特急にお乗り換え下さい。

※改札口を出て右手に緑に囲まれたキャンパスが見えます。



倫理審査委員会ができました。

大学などに所属していないため、論文の投稿に際して、倫理審査をうけられない会員のために、日本社会医学会倫理審査委員会が作られました。機関誌「社会医学研究」第30巻2号の巻末付近をご覧ください。すでに、審査を受けていらっしゃる会員も出てきています。お気軽に申請して下さい。